

自己評価報告書

平成23年4月22日現在

機関番号：14201

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20500518

研究課題名（和文） e-Learningを用いた保健体育科教育法関連教科目の再構築と実践に関する研究

研究課題名（英文） A study on reconstruction and practice of the pedagogical subjects of physical education by using e-Learning methods

研究代表者

澤田 和明 (SAWADA KAZUAKI)

滋賀大学・教育学部・教授

研究者番号：20053332

研究代表者の研究分野：健康・スポーツ領域、身体教育学

科研費の分科・細目：健康・スポーツ科学、身体教育学

キーワード：e-Learning、保健体育科教育、教科再編、体育理論、人間関係教育

1. 研究計画の概要

(1) 人間関係教育を学習内容に取り入れた教科再編も視野に入れた教科体育の可能性について検討し、それにつながる保健体育教科教育のカリキュラム構成を試みる。

(2) 従来の共同同時学習を補足し発展させる新しい可能性を内包した e-Learning の導入の可能性について検討する。

2. 研究の進捗状況

(1) 保健体育科教育カリキュラム作成

①研究の枠組み設定と必要な手順の再確認。現代社会と教育、教育改革、教科再編など教育全般に関わる基礎知識の整理。

②これまでの教科体育の現状の確認と問題点の整理。

③「体育に関する知識（体育理論）」や対人関係能力についての先行研究の整理と「関わり意識」の概念整理。

④「生命」「身体」「人間」「共創」を基盤とした「対人関係能力」の具体的検討。リーダーシップやコミュニケーションを中核に。

⑤これまでの講義の内容の整理と新しいカリキュラムの構築

(2) e-Learning の導入の可能性

①e-Learning の基礎知識の集約

②e-Learning の導入の先行研究整理

③これまで実施した e-Learning の整理

④e-Learning の導入の可能性と問題点

3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

(理由)

先行研究の文献調査や教科内容についての検討は順調に進んでいるが、具体的な講義での実験的研究がうまく進んでいない。

4. 今後の研究の推進方策

具体的な実践に基づく検討がうまく進められない場合は、いくつかの事例を報告しながら、文献研究により、教科再編も視野に入れた、新しい保健体育科教育のあり方についての仮設的な提案を試みる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計0件)

〔学会発表〕(計0件)

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

○取得状況(計0件)

〔その他〕